

2012年2月10日

## 2012年3月期第3四半期の取組みについて

弊社は、本日、2012年3月期第3四半期の決算短信の発表を行いました。

弊社を取り巻く経営環境は、日本そして世界の経済状況を反映し不透明感を払拭できない状況が続いておりますが、当第3四半期においては、経営効率の向上により厳しい環境にも耐えうる強い競争力の確立と収益力の回復を目標として対応を進めてまいりました。

原価管理や生産計画の一層の精度向上による生産効率の向上、遊休資産・不要設備等の除却による財務面での改善、固定費の低減等、今、本当に必要なものは何かを見直し、経営のスリム化を進めてまいりました。

これらの取組みについては、道半ばのものもあれば、今後の継続的な取組みが必要なものもありますが、当第3四半期において一定の成果が見え始めているものも多くあります。

半導体資材事業においては、主たる当社の製品の使用量と強い関連性を有する液晶テレビの世界市場においては今年を上回る出荷数量を予測する調査・報道もなされているなか、日本市場の世界におけるシェア縮小に対応し、海外顧客とのパートナーシップを強化するため、生産拠点を韓国と台湾の海外2工場に集約し、損益、キャッシュフローの管理についても当社グループ全体の戦略のなかでの効率性を追求しております。

衛生検査器材事業においては、テレマーケティングによる顧客基盤の拡大が奏功しており、堅調な売り上げ推移を見せております。

P I M事業については、これまでの研究開発の蓄積と事業化に向けた努力が成果につながり始め、売上の伸長、経費の抑制につき見通しが立ちつつあり、損益の改善に向けて明るい兆しが出てきました。

経済のトレンドを見極め、企業としての成長発展を追い求めていく姿勢は堅持しつつも、必ずしも弊社の事業にとり追い風でない状況下でも安定的な企業経営を実現し、投資家をはじめ、弊社を取り巻くステークホルダーの皆様より万全の信頼を置いて頂けるよう、経営体質の改善に引き続き努めてまいります。

今後とも、倍旧のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願いいたします。

以 上